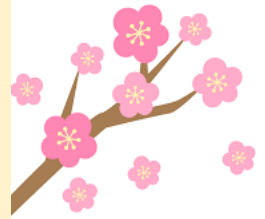


天候に勝る努力！ 土づくりを応援します

2月号

昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 006

生産現場を訪れると、50年以上の栽培歴を持つ篤農家様達が「こんな冬は初めてだ、おかしい」と異口同音におっしゃられています。

農業新聞（2/12）の論説にも異常暖冬については取り上げられており、今年の春は温暖・干ばつ傾向の予想のようです。

軟弱徒長での生育による品質低下・病害多発が危ぶまれます。作物価格の低迷から、生産費カット→品質低下→収量低下→価格低迷の「悪循環」に陥るのが最悪です。

品質を落とさず、収量も下げないためには、気候を見越した対策が必要です。右に基本ではありますが、対策を振り返ってみました。

スタッフ通信

弊社スタッフの近況やつぶやきをご紹介します♪

営業部 柴田さん に聞いてみました！

ありがたいことに研修会や勉強会への出席を数多くいただいています。そこで出る話は、異常気象、連作障害、害虫繁殖など「良いこと無し」な話ばかりとのこと…。

励みになるのは、弊社製品愛用者様からの「平年並みには取れているよ！ありがとう」とのお声でしょうか。「やはり土づくりは裏切らないぞ岡田（筆者）」と熱く語ってくれました。

柔道で鍛えた肉体&精神で頼りになる漢（おとこ）なのに、趣味はプラモ作り・愛犬の散歩というギャップがまた魅力的な弊社のリーダーでした。

対策ポイント① 根を健全に保つ

根をカラカラにしない、溺れさせないことが大切です。そのためには有機物（完熟堆肥、腐植資材）の投入。作土深の確保が土づくりの基本とです。

ちなみに弊社製品で言えば貝化石肥料のご使用がおすすめです。

対策ポイント② 軟弱に育てない

窒素の与えすぎは軟弱徒長の原因です。高温時期は地力発現が大きいことを再確認し適切な施肥管理を行いましょう。

苦土やケイ酸、微量元素の補給は根張りが良い強健な作物づくりに欠かせません。また、軟弱徒長を抑えます。

コストカットのため3要素施肥だけ続けると「品質・信用低下」のため、結局は安定経営になりません。

バランス良く、不足している栄養素を与えて 異常天候に備えましょう！



苦土を主とした
ミネラル補給には
ジャストマグ

地力回復に追肥でも間に合います。
芽出し時期の各作物への栄養補給に最適です！



お問い合わせは
昭和肥料まで FAX

0766-68-1227